

仕事と治療の両立のための出張相談が始まりました

がんや脳卒中、肝疾患、心疾患、糖尿病等により長期にわたる治療を受けながら働きたい、又は働き続けたい方を支援するために、ハローワーク岡山と岡山県社会保険労務士会による出張相談が岡山大学病院総合患者支援センターで始まりました。「自分の病状、体力にあった仕事をみつけない」「しばらくぶりに仕事に戻ることに不安を解消したい」また「休職中のお給料について知りたい」「復職前に会社に相談したい」など就労のことで悩んでおられる方にご利用いただければと思います。

通院先医療機関は問いません。秘密は守られますので、安心してご相談ください。

★ハローワーク岡山 毎週木曜日 10時～16時

★岡山県社会保険労務士会 第2・第4火曜日 13時～16時

問い合わせ・申込み先：岡山大学病院 総合患者支援センター(がん相談支援センター)

086-235-7744 *原則予約制ですが、予約に空きがあれば当日申込みも可能です。

桃太郎がんメディカルカフェのご案内

桃太郎がんメディカルカフェとは、がん患者さんやご家族だけでなく、医療従事者も含む市民が参加者として集い、それぞれが対等な立場で心の豊かさや人生観、生き方について自由に語り、交流する場です。どなたでも自由にご参加いただけます。関心のある方、初めての方もご遠慮なく下記までお問い合わせください。

日時：平成28年9月7日(水) 13:30～15:30

(受付：13:00～ 時間内であれば何時でも出入り自由です。)

場所：岡山大学病院 マスカットキューブ3階

対象：がん患者・家族、医療スタッフ、学生、その他関心のある方

(岡山大学病院以外へ通院中の方もご参加いただけます)

参加費：お茶代として100円

*当日受付も可能ですが、できるだけ事前にお申し込みください。

お問い合わせ先：岡山大学病院 総合患者支援センター 086-235-7744



「歯っぴいスマイル2016～お口の健康をみなおそう～」

平成28年6月9日(木)に岡山大学病院では、お口の健康に関心を持ってもらうため、市民のみなさんを対象に毎年恒例のイベントを開催いたしました。「歯科衛生士による体験ブラッシングコーナー」では予約制の21枠がすぐにいっぱいになってしまうほどの盛況ぶり、体験された方からは「歯磨きをしてもらってさっぱりした。磨き方を教えてもらってよかった」と好評でした。今年は「在宅介護における口腔ケア相談」のコーナーを新設し、シミュレーション用のお人形を使って、ケアグッズの使用方法を体験していただきました。ミニ公開講座、ぬり絵コンテスト、特殊技工物の展示、摂食・嚥下食の紹介、チェロのコンサート等、小さなお子様から年配の方々まで楽しめるたくさんの企画を用意し開催しております。

今年も、ラジオの生中継が入ったり、テレビの取材が来たり、と賑やかなイベントとなりました。また来年も開催予定ですので、是非みなさま多くの方のご参加をお待ちしております。



総合患者支援センターニュース

〒700-8558

岡山市北区鹿田町2丁目5番1号

岡山大学病院

総合患者支援センター

☎086-223-7151 (代表)

☎086-235-7744 (直通)

Integrated Support Center for Patients and Self-learning

Okayama University Hospital



センターの活動に関してはホームページ

(<http://www.cc.okayama-u.ac.jp/>)

をご覧ください。



総合患者支援センター地域医療連携部門
副センター長 森永裕士

今年4月より総合患者支援センター副センター長を拝命しました医療情報部の森永と申します。腎臓内科医として腎臓・透析の診療に当たり、現在も週に2日の外来診療を行っておりますが、平成25年10月からは医療情報部の所属となり、前任の合地先生、現医療情報部長の郷原先生、医療情報部の黄先生とともに医療情報システムの管理・改善に取り組んでまいりました。大学病院の医療情報部が果たすべき役割として、円滑な診療業務の推進はもちろんのこと、医学研究および医学教育の向上・発展に資するプラットフォームを管理構築していくことが求められます。データの利活用・共有による利便性向上のニーズとともに、情報セキュリティ強化の必要性も高まっております。ご理解ご協力のほどお願いいたします。



総合患者支援センター地域医療連携部門は、医科・歯科合わせて年間2万件を超える患者紹介の約4分の3を占めるFAX予約の窓口となっているほか、セカンドオピニオンの窓口にもなっております。また、主な連携医療機関に認定証を発行し、地域の医療機関との連携を緊密に行い患者様に安心して地元での診療を受けていただける体制作りを継続していくことをお示ししております。さらに、医療ネットワーク岡山『晴れやかネット』を活用した、診療情報共有やオンライン予約によるスムーズな外来予約を通じた病病連携・病診連携の推進、がん診療連携拠点病院としてのがん地域連携パス運用についても引き続き積極的に取り組んでまいります。また個人的には女性医療人キャリアサポート『MUSCATプロジェクト』の企画委員会にも参画させていただいており、働く女性を応援しています。よろしくお願い申し上げます。



★★★★★★★★★★★★★★ 地域の医療機関を訪問しています ★★★★★★★★★★★★★★

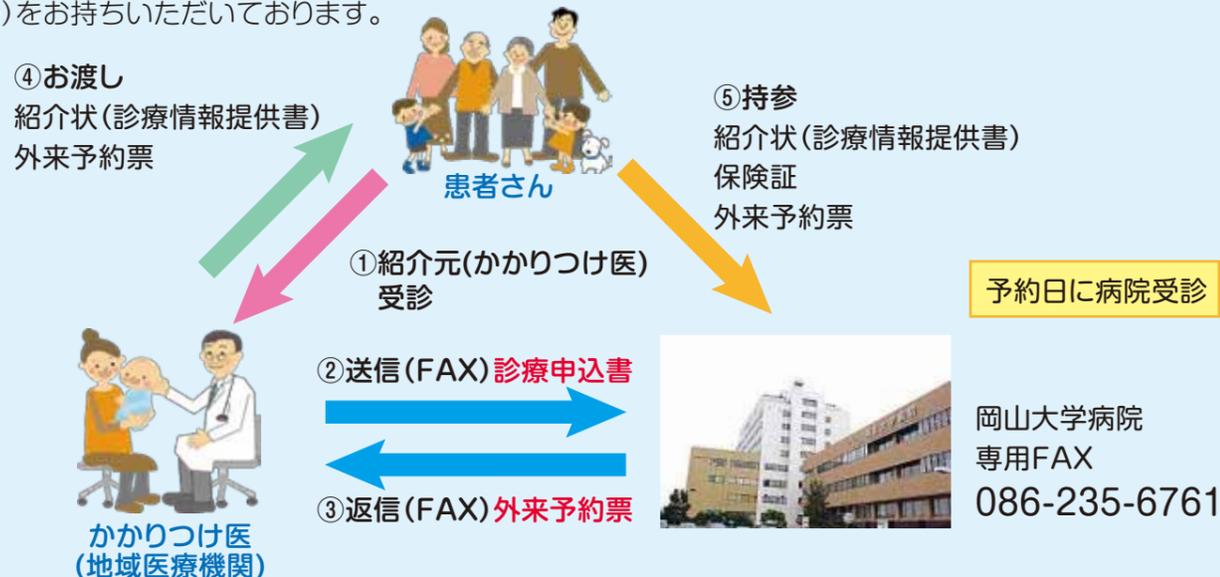
平成27年11月より、副センター長の石井と医事課の小山とで、当院へ患者さんを紹介いただいている地域の医療機関を訪問させていただいています。紹介元医療機関へのご挨拶と共に、予約受付を業務としている私どもへのご意見・ご要望、診療科へのご要望などをお聞きしています。

本院の少ない人数での対応や診療科毎の予約ルールなどから、予約取得には大変ご迷惑をおかけしており申し訳ありません。訪問先でいただくご意見は私どもの対応を見直すきっかけであり、貴重な改善材料となっています。紹介元の先生方に少しでもスムーズに予約していただけるよう、少しずつ改善を行っていきたくと思っています。地域の医療機関との窓口としての役割を担い、紹介元医療機関との協力体制の充実、連携の強化を深めるため、これからも引き続き訪問させていただく予定です。お忙しいところ申し訳ありませんが、その際はどんなことでも結構ですのでお気軽にご意見・ご要望を頂けたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

★★★★★★★★★★★★★★ 初診外来予約取得の流れについて ★★★★★★★★★★★★★★

当院の初診予約の受付は、紹介元医療機関(かかりつけ医)からの申込みを原則としております。

紹介元(かかりつけ医)から、事前に初診患者さんの情報を、FAX診療申込書と診療情報提供書でFAX連絡をして頂くことによって、予約取得をさせていただいております。また、受診当日、患者さんには、「紹介状」、「保険証」、「外来予約票」、「診察券」(受診歴のある患者さん)、「お薬手帳」(現在服用中の薬がわかるもの)をお持ちいただいております。



入院支援室、始めました…

平成27年11月より「入院支援室」を開設しました。場所は外来棟1階、スターバックスコーヒーの前(写真①)です。現在、看護師2名・薬剤師2名で、入院予約が決定した患者さん・ご家族から今後の治療に対する思いを聴き、これまでの経過・現在使用されているお薬の内容など確認させていただき、入院に関する必要な書類をお渡ししています(写真②)。入院支援室を訪れた患者さんから「ゆっくり話を聞いてもらえてよかった」「中止する薬がどれか具体的に教えてもらえて助かった」「家族のこと、気がかりなことがきいてもらえてよかった」との声も聞かれ、担当者もやりがいを持って頑張っています。また、関連の医療スタッフからも「事前に情報がわかるので、入院してからのケアなどに役立つ」「情報が整理してあるので、わかりやすい」など、評価をいただいています。

消化器内科、リウマチ・膠原病内科、糖尿病・内分泌内科、腎臓内科の入院予約の患者さんのみの対応になっていますが、これから対応する診療科を拡大していく予定です。岡山大学病院に入院される患者さん・ご家族が安心して治療が受けられるように頑張りたいと思っています。



◆入院支援室の流れ◆

外来診察で入院決定→診療科の受付で説明→入院支援室へ

入院支援室

看護師…ご自宅での生活のこと・これまでのご状況などの確認

入院に必要な書類・入院のしおりのお渡し

薬剤師…現在使用しているお薬の確認

入院前に中止が必要なお薬の確認



★★★★★★★★★★★★★★ 転院や在宅療養に関するご相談をお受けしています! ★★★★★★★★★★★★★★

総合患者支援センターの業務は多岐に及んでいますが、中でも重要な業務のひとつが、転院や在宅療養に関する相談になります。最近では、患者さんの入院期間が短くなっており、病気が完治した状態ではなく、継続した治療が必要な状態で退院となることも増えています。また、病気による後遺症や病状の進行に伴って、生活に支障が出てこられる方もあるかもしれません。患者さん・ご家族は戸惑いや不安を感じられることと思いますが、そのような時に、安心して療養生活が送れるように支援させていただくのが私たちの役割です。

今後転院が必要な方には、転院の目的や病状に適した医療機関や施設にどのようなところがあるのか、患者さん・ご家族に情報提供を行います。転院先が決まりましたら、その機関への情報提供や転院日等の調整を行い、転院までの支援をさせていただいています。また、在宅療養の支援においては、患者さん・ご家族の不安をお聞きし、必要な医療・介護・福祉の在宅サービスや地域のサービス提供機関をご紹介します。サービスが実際に利用できるように調整をしています。

「地域連携」という言葉を耳にされた方もあるかと思いますが、退院支援業務においては、この「地域連携」を通して、患者さん・ご家族が安心して、療養が継続できるようにお手伝いをさせていただきたいと思っています。

退院や在宅療養に不安や心配なことがありましたら、ぜひ当センターへご相談ください。

ひとりで、またはご家族だけで抱え込まないで、まずは声に出して話してみることが大切です。予約がなくても構いませんので、どうぞお気軽にお立ち寄りください。

★★★★★★★★★★★★★★ 認知症疾患医療センター市民公開講座 ★★★★★★★★★★★★★★

生活習慣病と認知症の関連性への関心が高まるなか、健康的に年齢を重ねるエイジングケアの視点を認知症予防に活用していただくために、3月13日に『認知症予防とエイジングケア』というテーマで第3回市民公開講座を開催しました。岡山大学病院神経内科病院講師菱川望先生による「生活習慣と記憶とこころ」、ヨーギンストラクター・アーユルヴェーダ講師高橋依子先生による「エクササイズでエイジングケア」の講演がありました。

幅広い年代からたくさんの方にご参加いただき、「基本的なことを知ることができて良かった。」「大変楽しかった。」とのご意見を多くいただきました。

